

設定ガイド

ホームネットワークシステム 屋内カメラ



お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、屋内カメラの設置・接続について説明しています。屋内カメラは、スマートフォン・タブレットなどにインストールした「ホームシステム」アプリケーションで操作します。使いかたは、アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。(21ページ)

保証書 付 き

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5~7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

Printed in China



PNQX8073ZA

PNQX8073ZA C0316KM0 (E)

もくじ

はじめに

本システムについて	3
付属品について	3

ご使用前に

安全上のご注意	5
使用上のお願い	8

設置の前に

使用可能距離について	11
設置場所の電波状態を確認するには .	11
センサーについて	12
設置場所について	15

設置

各部のなまえとはたらき	16
状態表示ランプの表示	16
設置完了までのステップ	17
カメラをホームユニットに登録する .	17
接続する	18
壁掛けする	19

必要なとき

センサーの検知状況を確認する	20
「ホームシステム」アプリケーションで できること	20
「ホームシステム」アプリケーションの 取扱説明書にアクセスする	21
仕様	22
ライセンスについて	22
基本寸法図	23

困ったとき

困ったとき	24
修理と保証	26

本システムについて

- 本システムは侵入や盗難などを防止することを目的とした製品ではありません。これによる事件・事故および損害の発生などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は医療や育児、介護の専用監視カメラではありません。これらを目的とした製品利用の結果生じた事件・事故および損害などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本システムは無線通信を利用した商品であるため、混信や干渉により意図どおりに機能を使用できないことがあります。これによる事件・事故および損害の発生などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

付属品について

番号	品名	数量
①	ACアダプター	1



お知らせ

- 不備な点がございましたら、お買い上げの販売店（工事店）へお申し付けください。

microSDカードについて

本機の録画機能を使用する場合は、市販のmicroSDカードをお買い求めいただき、ホームユニットに挿入してください。

- 他の機器でフォーマットされたmicroSDカードは、ホームユニットで使用できない場合があります。以下のウェブサイトから「SDカードフォーマッター」をパソコンにダウンロードし、microSDカードをフォーマットすることをお勧めします。（フォーマットすると、保存されているすべてのデータが削除されます）
https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/

はじめに

使用可能なSDカードについて

- 本機はSD規格に準拠した種類のmicroSDメモリーカードに対応しています。
(本書ではmicroSDメモリーカードを総称して「microSDカード」と表記しています)
- microSD/SDHCカード：容量32 GB以下に対応しています。

その他

- デザインや仕様は予告なく変更になることがあります。
- 本書に記載のイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。
- 本書ではスマートフォン・タブレットを総称して「スマートフォン」と表記しています。

商標について

- microSDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- iPhone、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

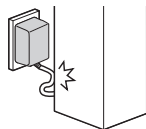
警告

火災・感電・漏電などを防ぐために



禁止

- 分解・修理・改造しない
修理は販売店へご相談ください。
- ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない
- 雷が鳴ったら、本体・ACアダプターに触れない
- 機器内部に金属物を入れない
金属物が入った場合は、すぐにACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。
- コード・ACアダプターを破損するようなことはしない
傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど（傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因）
修理は販売店にご相談ください。

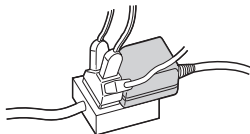


警告



禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V以外での使用はしない



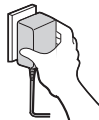
(たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因)

- 機器 (ACアダプターを含む) に水をかけたり、ぬらしたりしない
ぬれた場合は、すぐにACアダプターを抜いて、販売店へご相談ください。
- 付属のACアダプター以外は使用しない
- 本機を電子レンジに入れたり、電磁調理機器などに置いたりしない
- 雷のときは配線工事をしない
- 設置・配線工事の際の壁への穴開けや、コードを固定する際は、屋内配線・屋内配管を傷つけない

警告



- ACアダプターは根元まで確実に差し込む
(差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因)
傷んだACアダプター・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- ACアダプターのほこりなどは定期的にとる
(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因)
ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。
- 煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐにACアダプターを抜く
(そのまま使用すると、火災や感電の原因)
使用を中止し、販売店へご相談ください。
- ACアダプターを抜くときは、ACアダプターの本体 (金属でない部分) を持って抜く
(コードを持って抜くと、コードの断線による火災・感電・やけどの原因)



警告

事故やけがなどを防ぐために



禁止

- 医療機器の近くでの設置や使用をしない※1
手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室の略称）などには持ち込まない
- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない※1
※1 本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因
- 落下させたり、強い衝撃を加えない
- 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁や天井には取り付けない
石こうボード・コンクリートブロック・屋外に露出した木材・凹凸の激しい壁面など
（落下によるけがや・雨水などの浸入による火災・感電の原因）

事故などを防ぐために



- 心臓ペースメーカーの装着部位から15 cm以上離す
（本機からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります）

注意

火災・感電などを防ぐために



禁止

- 湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

事故やけがなどを防ぐために



禁止

- スピーカーに耳を近づけて使用しない
（急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こすおそれあり）
- 壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付け
（落下による、破損やけがの原因）
石こうボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、厚さ25 mm以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付ける。
- 乳幼児の手の届かない位置に設置する

使用上のお願い

ホームユニットについて

- 本機は、ホームユニットと無線通信しています。電波が届きやすい、次の場所にホームユニットを置いてください。
 - ・ テレビやラジオ、パソコン、無線機器、または電話機などの電子機器から離れた場所
 - ・ 外部アンテナや携帯電話の基地局などの無線送信機に向き合わない場所
(ホームユニットを出窓や窓際に置かない)
- 詳しくは、ホームユニットの設定ガイドをご確認ください。

こんなところには設置しない

- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン(インターホン機能付き)、ホームセキュリティ関連装置の近く(ノイズ発生の原因)
- 本機に、過度の煙、ほこり、高温や振動を与えない
- 直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を、長時間映さない(撮像素子が破損する原因)
- 本機の上に重たいものを置かない
- 長時間お使いにならないときは、コンセントからACアダプターを外す
- 火気・熱器具の近く(温度が0℃以下、または40℃以上の部屋にも置かない。湿気の多い地下室なども避ける。)
- 電気機器の近くで本機を操作されると干渉を起す恐れがあります。電気機器から離してください。

ACアダプターを差し込む位置は...

ACアダプターは、本機の近くの抜きやすい位置にあるコンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。

プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

- 「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障なし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

傍受について

本機は通信にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

電波について

- 本機は、1,895.616~1,902.528 MHzの帯域を使用する無線設備です。本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す下記のマークが表示されています。(一

一般社団法人 電波産業会 標準規格
「ARIB STD-T101」準拠)

1.9-D

- **J-DECT** ロゴは、**DECT Forum** の商標です。**J-DECT** のロゴは**ARIB STD-T101** に準拠した**1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています**。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

J-DECT

- **本機の使用周波数に関わるご注意**
本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
 1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の**ACアダプター**を抜いて、お客さま相談センター（31ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 2. その他、何かお困りのことが起きたときは、お客さま相談センター（31ページ）へお問い合わせください。

修理・譲渡・廃棄・返却するとき

<本機の修理を依頼するとき>

本機の修理を依頼される場合、設定内容が変化またはお買い上げの状態に戻

ることがありますので、あらかじめご了承ください。

<本機を譲渡・廃棄・返却するとき>

「ホームシステム」アプリケーションを使って、登録したホームユニットからカメラを減設してください。減設方法は、「ホームシステム」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（21ページ）

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。（故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください）
- 設定ガイドに従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するとき
 - 「ホームシステム」アプリケーションを使って、登録したホームユニットからカメラを減設してください。減設方法は、「ホームシステム」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（21ページ）
減設後は、誤動作防止のため、本機の電源を切ってください。
 - 万一の落下防止のため、本機を壁から取り外してください。高いところに取り付けている場合は、取り外しをお買い上げの販売店にご相談ください。
 - 停電すると使えません。

ご使用の前に

- この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

お手入れについて

- お手入れ時は、センサーの誤動作防止のため、ACアダプターをコンセントから抜いてから、柔らかい布でから拭きしてください。

お願い

- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。
(変色、変質の原因)
- ACアダプターを拭くときは、安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

画質について

- 本機の画質について、以下のような場合があります。
 - ・ 色合いが、実際の色と異なる
 - ・ 逆光のとき、人の顔が暗くなる
 - ・ 夜など光源が乏しい場合に、画質が低下する
 - ・ 外灯を映すと、周りがかすんだようになる

被写体が直射日光やハロゲン光を受けている場合、黒色の部分が紫がかって見えることがあります。故障ではありません。

データを保護するために

データの損失などにより発生した損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

- データの読み出し中や書き込み中は、ホームユニットからmicroSDカードやACアダプターを抜かないでください。(故障、データ破壊の原因)
- 電磁波、静電気、本機やmicroSDカードの故障などによってもmicroSDカード内のデータが壊れたり消失することがありますので、大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。

使用可能距離について

本機とホームユニットの通信可能距離は、約100 mです。距離が離れていたり、次のような障害物があると、電波が弱くなり、通信ができない場合があります。

- 金属性のドアや雨戸、シャッター
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリートやトタン製の壁
- 複層ガラスの窓
- 壁を何枚も隔てたところ
- ホームユニットと別の階や家屋で使うとき

お知らせ

- ホームユニットとの通信が不良の場合は、カメラの状態表示ランプは赤色に点灯または点滅します。このような場合は、ホームユニットを含むすべての接続を確認してください。
- カメラがホームユニットから離れていたり、壁などの障害物があって、スマートフォンに「圏外」と表示されて使えない場合は、パナソニックシステムネットワークス（株）製の中継アンテナ（品番：KX-FKD3）を設置すると、改善できることがあります。

設置場所の電波状態を確認するには

カメラの状態表示ランプで確認する

カメラがホームユニットに登録済みの場合は、カメラの状態表示ランプで設置場所の電波状態を確認できます。

緑色またはオレンジ色に点灯する場所に設置してください。

表示	状態
緑（点灯）	電波状態：強い
オレンジ（点灯）	電波状態：普通
赤（点灯）	電波状態：弱い
赤（点滅）	圏外

「ホームシステム」アプリケーションで確認する

「ホームシステム」アプリケーションでは、アンテナアイコンの本数で電波状態を確認できます。

- 中継アンテナを使用している場合は、スマートフォンで正確な電波レベルを確認することができません。カメラの状態表示ランプで確認してください。（11ページ）

表示	状態
3本	電波状態：強い
2本	電波状態：普通
1本	電波状態：弱い
0本	圏外

センサーについて

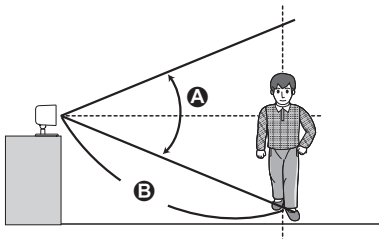
本機には、「動作検知」、「温度センサー」、「音センサー」の3つのセンサーがあります。特性を理解したうえで、適切な場所にカメラを設置してください。

お知らせ

- 本機のセンサー機能は、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、動作検知を使わないことをお勧めします。

動作検知について

動作検知機能は、動きの変化を動体の輪郭の変化と輝度変化によって検知しています。



- **A** 垂直方向の検知範囲：約50°
- **B** 人の動きを検知できる距離：約5 m

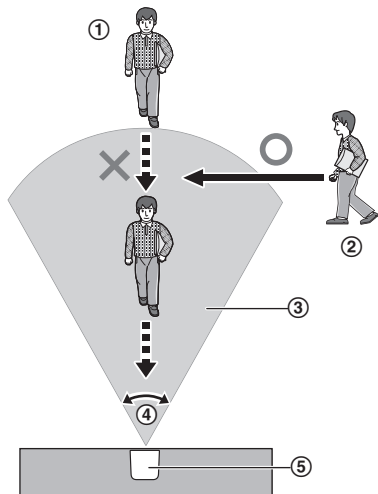
お知らせ

- 動いている被写体と背景の色が似ているときは、動作を正しく検知しない場合があります。
- 外部照明の点灯時など、全体的に明るさが急変する場合は、誤って動作検知することがあります。
- 暗くなると検知しにくくなります。
- 検知範囲および検知感度は変更することができます。詳しくは、「ホームシステム」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（21ページ）

設置の前に

検知しやすい向き

カメラを横切る動きは検知しやすく、カメラにまっすぐ向かう動きは検知しにくくなります。



- ① カメラにまっすぐ向かう動き
- ② カメラを横切る動き
- ③ 検知範囲
- ④ 水平方向の検知範囲：約 70°
- ⑤ カメラ

温度センサーについて

設定している上限温度を超えた場合、または下限温度未満になった場合にセンサーが反応します。

お知らせ

- エアコンの風などが常時あたるような場所にカメラを設置した場合、温度センサーが正常に動作しないことがあります。
- 温度センサーの温度範囲の設定は変更することができます。詳しくは、「ホームシステム」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。
(21ページ)

音センサーについて

カメラに内蔵のマイクが、設定されたレベル以上の音を検出したときにセンサーが反応します。

お知らせ

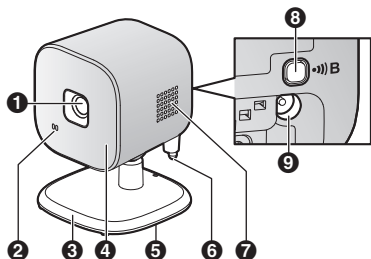
- 子守歌モードが動作中で、カメラから子守歌（メロディ）が流れているときは、音センサーは動作しません。
- 周囲の環境が騒々しい場合などは、音センサーは正常に動作しないことがあります。
- 音センサーの検知感度の設定は変更することができます。詳しくは、「ホームシステム」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（21ページ）

設置場所について

変形・変色、故障・動作障害などを避けるために、下記のような場所には設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所
- 台所など油污れがついたり、蒸気がかかる場所
- 火気・熱器具の近く
- 電子レンジや磁石などの強い磁気を発生する物の近く
- エアコンのそばなど温度変化の激しい場所
- 前方にガラスなど温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
- 温度に影響するような強い発光物（蛍光灯など）がある場所
- 携帯電話など強い電波を発信する製品の近く

各部のなまえとはたらき



- ① レンズ
- ② マイク
- ③ スタンド
- ④ 状態表示ランプ
- ⑤ 製造番号
スタンドの裏面に記載しています。
- ⑥ 温度センサー
- ⑦ スピーカー
- ⑧ 【】B
カメラをホームユニットに登録するとき 사용합니다。
- ⑨ ACアダプター差し込み口

状態表示ランプの表示

カメラの状態を、状態表示ランプの表示色、点灯／点滅によってお知らせします。

設定により、状態表示ランプを点灯／点滅させないようにすることもできます。詳しくは、「ホームシステム」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。(21ページ)

表示	状態
消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプターが外れている ● 状態表示ランプが点灯／点滅しない設定になっている
緑 (点灯)	待機中 (電波状態: 強い)
オレンジ (点灯)	待機中 (電波状態: 普通)
赤 (点灯)	待機中 (電波状態: 弱い)
赤 (点滅)	圏外 カメラがホームユニットに登録済みで起動中
オレンジ (点滅)	カメラがホームユニットに未登録
緑 (点滅)	カメラをホームユニットに登録中 カメラの映像をモニター中または録画中
緑 (速い点滅)	センサー検知時
赤 (速い点滅)	エラー状態 カメラをホームユニットに登録失敗

設置完了までのステップ

1 初期設定

お使いのスマートフォンに「ホームシステム」アプリケーションをインストールし、初期設定が終了していることをご確認ください。初期設定の方法については、ホームユニットの設定ガイドをご確認ください。

2 カメラの登録

3 設置場所の決定

本書に記載の注意事項をお読みになり、カメラを使用するにあたって適切な設置場所を確認してください。また、設置場所にてカメラとホームユニット間の通信が良好であることも確認してください。

4 設置

設置場所にカメラを設置します。

カメラをホームユニットに登録する



カメラをホームネットワークシステムで使うには、ホームユニットに登録してください。

カメラがホームユニットに登録されていない場合は、カメラの状態表示ランプはオレンジ色に点滅します。ホームユニット、カメラのボタンから、「ホームシステム」アプリケーションからの2種類の登録方法があります。


ホームユニット、カメラのボタンから登録する

- 設置の前に、カメラをホームユニットに登録してください。

- カメラとホームユニットの間が、見通し約100 m以内で登録してください。

- 1 **ホームユニットの操作：**
ランプが緑色に点滅するまで【】Bを押す
- 2 **カメラの操作：**
状態表示ランプが緑色に点滅するまで【】Bを押す（16ページ）
 - 登録が完了すると、ホームユニットとカメラが「ピーッ」と鳴ります。

お知らせ

- カメラの登録を中断する場合は、ホームユニットの【】Bを押してください。
- 登録に失敗すると、ホームユニットは「ピピピピピッ」、カメラは「ピピピッ」と鳴ります。
- 登録後に電源を切っても、登録情報は消えません。
- カメラの登録は、ホームユニットと無線LAN、スマートフォンが接続されていなくても可能です。

「ホームシステム」アプリケーションから登録する

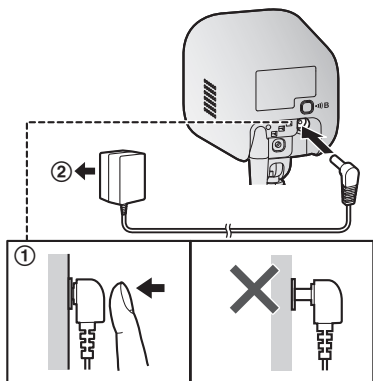
詳しくは、「ホームシステム」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（21ページ）
登録完了後に「ホームシステム」アプリケーションを使用して、本機の設置場所や名前を設定することができます。

接続する

- ① ACアダプター差し込み口にACアダプタープラグをしっかりとつなぐ
- ② ACアダプターを電源コンセントにつなぐ

お知らせ

- 必ず付属のACアダプターをお使いください。



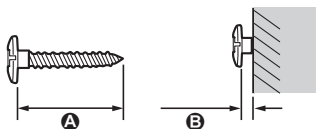
ACアダプターの接続について

- ACアダプターは常時接続しておいてください。（ACアダプターが熱くなることがありますが、異常ではありません。）
- ACアダプターは、壁か床に据え付けの電源コンセントに接続してください。天井に据え付けの電源コンセントでは、ACアダプターの重みで外れる場合があります。

壁掛けする

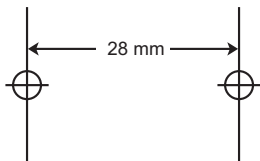
- 壁や使用するねじなどの強度が、カメラの重さに対して十分であることを確認しておいてください。
- ACアダプターは、壁か床に据え付けの電源コンセントに接続してください。天井に据え付けの電源コンセントでは、ACアダプターの重みで外れる場合があります。
- 石こうボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、厚さ25 mm以下のベニヤ板など、強度の弱い壁には取り付けないでください。

- 1 壁に市販のねじ（推奨：4.1 mm × 20 mm丸木ねじ）をねじ込む
A 20 mm
B 1.3 mmの隙間



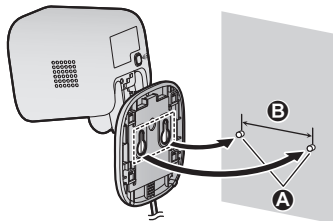
お知らせ

- ねじ穴をあける際のめやすに下記をご使用ください。

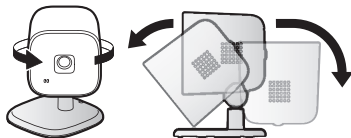


- 2 カメラを壁掛けする

- A** ねじ
B 28 mm



- 3 カメラの角度を調整する



センサーの検知状況を確認する

「ホームシステム」アプリケーションを使って、動作検知による検知状況を確認します。

「ホームシステム」アプリケーションの使用方法については、「ホームシステム」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（21ページ）

- 1 カメラを設置している場所へ移動する
- 2 「ホームシステム」アプリケーションのメニュー画面で**[カメラ]**をタップする
- 3 確認したいカメラの映像を表示させる

4 iPhone/iPad

☰をタップする

Android™機器

お使いのスマートフォンなどのメニューボタンまたは☰をタップする

- 5 **[屋内カメラの設定]**→**[センサー確認]**をタップする
- 6 スマートフォンの画面やカメラの状態表示ランプで、センサー検知状況を確認する
 - 検知させたい場所を、検知させたい被写体（人物など）と進行方向で、センサーが検知することを確認してください。
 - 検知させたくない場所や被写体（風にそよぐカーテンや窓外の洗濯物など）で、センサーが誤って検知しないことを確認してください。
 - センサーが反応すると、画面に「動作検知」と表示され、カメ

ラの状態表示ランプが緑色に点滅します。

- 7 確認が終わったら、**[設定へ戻る]**をタップする

お知らせ

- 動作検知は、感度・検知範囲・タイマーを設定することができます。詳しくは、「ホームシステム」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（21ページ）
- センサーが反応すると、カメラ側で音を鳴らすようにできます。（センサー反応音）詳しくは、「ホームシステム」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（21ページ）
- 音センサー、温度センサーの検知状況の確認はできません。

マイクの動作確認

第三者に「ホームシステム」アプリケーションでカメラ映像を確認してもらっている間に、カメラのマイクに向かってはっきりと話しかけて確認してください。

「ホームシステム」アプリケーションでできること

「ホームシステム」アプリケーションを使って、下記のような機能を使うことができます。

詳しくは、「ホームシステム」アプリケーションの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。（21ページ）

・ **モニター機能**

カメラの映像をスマートフォンで確認（モニター）できます。

・ **センサー機能**

カメラの温度センサー、音センサー、動作検知が反応したときのカメラの映像をスマートフォンで確認できます。

・ **通話機能**

カメラ側にいる相手とスマートフォンで交互に話すことができます。

・ **子守歌機能**

カメラ側にメロディを流すことができます。

・ **録画機能**

モニター中やセンサー検知時※1のカメラの映像を録画できます。録画した映像はホームユニットに挿入されているmicroSDカードに保存され、スマートフォンで再生／消去できます。電波状態によっては映像が欠落したり、乱れることがあります。

※1 解像度が「速度優先」の場合
センサー検知前から4枚の静止画が撮影されます。センサー検知の約6秒後からの動画に切り替わります。
解像度が「画質優先」の場合
センサー検知の約3秒後からの動画に切り替わります。

・ **警戒モード機能**

在宅時または外出時に働かせるセンサーを設定することができます。

・ **画質調整機能**

カメラの映像の画質、明るさ、ちらつきなどの調整ができます。

「ホームシステム」アプリケーションの取扱説明書にアクセスする

「ホームシステム」アプリケーションでの本機の使いかたについては、取扱説明書をご確認ください。

1 iPhone/iPad

「ホームシステム」アプリケーションのホーム画面で、☰をタップする

Android機器

「ホームシステム」アプリケーションのホーム画面が表示されているときに、お使いのスマートフォンなどのメニューボタンまたは☰をタップする

2 [取扱説明書]をタップする

お知らせ

- 取扱説明書を正しく表示するための推奨環境は以下のとおりです。
 - iOS 6.0以降
 - Android 4.1以降
 - Microsoft® Windows® Internet Explorer® 9以降
- 取扱説明書は、下記リンクからでもアクセスできます。



http://www.lixil.co.jp/lineup/gate_fence/homenetwork/manual/

仕様

- **使用環境**
温度：0 °C ～ 40 °C
湿度：20 % ～ 90 %（結露なきこと）

本体

- **電源**
ACアダプター（極性統一形プラグ）
AC100 V（50 Hz / 60 Hz）
（DC6.5 V）（1 A）
- **消費電力**
待機時：約1.1 W
動作時：約2.1 W
- **外形寸法（高さ × 幅 × 奥行）**
約102.5 mm × 75 mm × 75 mm
- **質量**
約 170 g
- **無線通信方式**
DECT：1.9 GHz TDMA-WB
- **使用可能距離**
約100 m / 見通し距離
- **撮像素子**
CMOS 30万画素
- **出力映像**
VGA/QVGA
- **最低被写体照度**
0ルクス※1
- **焦点距離**
固定（0.5 m～∞）
- **撮影範囲（カメラ画角）**
水平：約70°
垂直：約50°
- **動作検知範囲**
水平：約70°
垂直：約50°
- **取付角度調整（取り付け時に設定可）**

水平：約±90°

垂直：正面～下方向へ約60°

その他

- **コード長さ**

電源コード：約1.8 m

※1 周囲が暗いときは本機に内蔵の赤外線LEDが点灯して、映像を白黒で表示します。

ライセンスについて

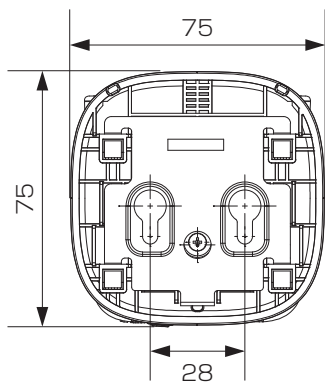
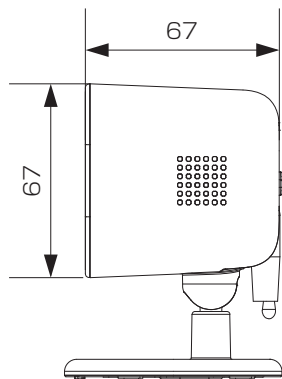
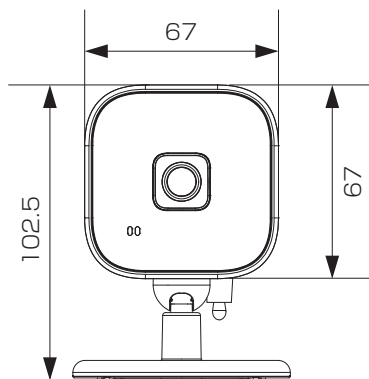
本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- i. 画像情報をAVC規格に準拠して（以下、AVCビデオ）記録すること。
- ii. 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ（<http://www.mpegla.com>）をご参照ください。

基本寸法図

単位：mm



困ったとき

センサーの動作

センサーが誤動作する

- 人がいないのに反応する

- 次の場合は、動きの変化を検知して動作検知が反応することがあります。
 - ・ 検知範囲に、風で動くような植木・洗濯物・カーテンなどがあるとき（動作検知が反応）
 - ・ 犬や猫などの小動物が検知範囲に入り込んだとき
- 動作検知が誤動作する場合、動作検知の範囲や感度設定を調整してください。（20ページ）

センサーが反応しない

- 動作検知がはたらかない

- 動作検知が動作する設定になっているか、設定を確認してください。（20ページ）

<上記以外で動作検知がはたらかない>

- 動作を検知しない時間帯になっていませんか？
→設定を確認してください。（20ページ）
- 被写体の動きが小さいと、検知しないことがあります。
→動作検知の感度設定を、より高い感度に変更してください。（20ページ）
- 被写体が暗くなる夜間は検知しにくくなります。
→補助灯などを設置して被写体周辺が明るくなるようにしてください。

正面方向から近づいてくる人を検知できない

- カメラの正面から近づいてくる人物は検知しにくくなります。
→検知させたい人物がカメラを横切るようにカメラの設置場所を変更してください。
（人物は横向きに映りやすくなります）

映像について

人がいるのに、人物がまったく、またはほとんど映っていない

- 次のような場合、うまく撮影できないことがあります。
 - ・ センサーの検知エリアの境界付近にいる人などの動き
 - ・ カメラの前をゆっくり、または小走りで横切った人などの動き
 - ・ カメラの近く（約1 m付近）を横切った人などの動き

映像がはっきりしない（焦点が合わない）
<ul style="list-style-type: none">● カメラのレンズカバーに汚れなどが付いていませんか？ →レンズカバーを柔らかい乾いた布で拭いてください。
映像が適切な明るさにならない
<ul style="list-style-type: none">● カメラの設置場所の明るさが、急激に変化しています。 →約1秒お待ちください。自動で補正されます。
画面にノイズがたくさん発生してぼけたような映像になり、人の顔などが判別しにくい
<ul style="list-style-type: none">● 暗い場所で撮影した映像は、撮像素子の特性によるノイズのため、人の顔などが判別しにくくなります。（故障ではありません） →補助灯などの設置をお勧めします。
被写体が白黒（または青紫）っぽく映る
<ul style="list-style-type: none">● 夜間などカメラの周囲が暗いときは、赤外線LEDにより、被写体が白黒（または青紫）っぽく映ります。 →補助灯などの設置をお勧めします。
被写体がぶれる
<ul style="list-style-type: none">● 動きのある被写体を映すとぶれることがあります。（撮像素子の特性で、故障ではありません）● 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときはシャッタースピードが遅くなり、被写体がぶれやすくなります。 →補助灯などの設置をお勧めします。
映像に白点または色のついた光の点が表示される
<ul style="list-style-type: none">● 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときは、画面全体に白点または色のついた光の点が生じることがあります。（撮像素子の特性で、故障ではありません） →補助灯などの設置をお勧めします。
画面にちらつきが発生する
<ul style="list-style-type: none">● 「ちらつき防止設定」が、お使いの地域（東日本／西日本）に合わせて正しく設定されていますか？正しく設定しないと、蛍光灯など交流電灯の照明によって、しま模様になることがあります。（フリッカー現象） →地域に合わせて正しく設定すると改善できます。転居などで地域が変わったときは、「ホームシステム」アプリケーションで設定を変更してください。（21ページ）

修理と保証

1. 保証書について

- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
- 保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間

お願い

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日（お引渡し日）	1年	2年
電装部品	無料	有料
電装部品以外	無料	有料

3. 修理について

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年 月 日	電話番号	
施工店名		その他	


- 消耗品は寿命があり、有償保証となります。

4. 点検および修理料金のしくみ

- 修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
 - 技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
 - 部品代は、修理に使用した部品代です。
 - 出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

5. 交換用部品について

- お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルパーツショップ <http://partshop.lixil.co.jp/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター  0120-126-001にご連絡ください。

屋内カメラ 保証書

製造 No. (商品名シール No.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ケ年
	但し電装部品	1 ケ年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前 様	
	電 話 ()	

本書はお引渡し日から上記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は次ページ記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造 No. が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施 工 店	住所・店名	印
	電話 ()	

株式会社 LIXIL

〒136-8535 東京都江東区大島 2-1-1

1. 保証者

株式会社 LIXIL

2. 保証の対象者

当該商品の所有者

3. 対象商品

LIXIL ブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品

4. 保証内容

取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。

5. 保証期間

当該商品の施工完了日（お引き渡し日※）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。

※注）新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。

6. 品質保証の免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など）、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など）。
- ②取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
- ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
- ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のささくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。

- ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）。
- ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合（例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など）。
- ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など）。
- ⑨天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
- ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
- ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取り外し含む）に起因する不具合。
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。

※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、下記オフィシャルサイトからご確認ください。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間 / 月～金 9:00～18:00

土・日・祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL.  0120-126-001

FAX. 03-3638-8447

修理のご依頼は、LIXIL 修理受付センターまで

受付時間 / 月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL.  0120-413-433

FAX.  0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの『プライバシーポリシー』(<http://www.lixil.co.jp/privacy/>)をご覧ください。

取説コード

Z575

JZZ631205
201604A_1009